

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はっぴーone純		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラム(クッキング、バイキング、1日戸外活動、サイエンス、図書館活動、製作活動、お買い物体験、避難訓練など)を企画・実施しており、子ども達の成長を促し、固定せず充実している。	職員会議やカンファレンス、事業所内研修、事業所外研修、ロールプレイ等を常時行っており、活動、クッキング、科学実験などの取り組みを行っている。	目的をより明確にし、季節の変化に興味を持てるような製作活動やむかしあそび等を取り入れた活動、戸外活動、公共の場を学べる施設体験や化学実験など充実させる取り組みを行っている。
2	古民家であるがゆえ、豊等でリラックスしたり、祖父母宅のような落ち着いた環境にあり子ども達が葛藤を調整する力を養う憩いの場となっている。	子ども達がリラックスした気持ちで遊べる環境や、クールダウンする際にも全身でくつろげるように、毎日の清掃や消毒をより丁寧に行っている。	更に落ち着く環境にするために、掲示物等は最小限に抑え刺激を減らすようにしている。
3	チャレンジ課題として56種類以上の課題を設ける事で、利用児にあった支援を行う事により、療育内容の充実を図っている。	日頃から職員を対象にしたチャレンジ課題の研修を行ったり、ロールプレイ等を実施する等して、すべての職員が利用児に適した支援を行えるように取り組んでいる。	今後もロールプレイを含めた研修を充実させていく。また、利用児が飽きが来ないようなチャレンジ課題の組み方にしたがり、定期的に新たなチャレンジ課題を取り入れる事で療育の充実を図っている。また朝礼や終礼、カンファレンス等にて職員間の情報共有や情報交換を強化させたり、さらに専門的支援等の担当者による研修も充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	古民家であるがゆえの、課題もある。	すま風が入って来る為、健康面に不安がある。パーティションで仕切ると冷暖房が行き届かない。	窓断熱キット等を取り入れる事で対策を図り、手洗いうがいを徹底していくことで健康面の不安を取り除いていきたい。また、柵等も老朽化しており常に点検補修を行っている。
2	地域との交流を図る為の機会を確保できていない。	系列事業所(はっぴーone、はっぴーoneⅡ)との交流に留まっている状況にある。	奉仕活動等を更に加えていく事で、地域の方々との交流を行う機会を増やしていきたい。
3	各種支援計画に関して、十分な説明を行う事が不十分だと思われる。	保護者様の時間的制約等もあり、面談の時間を確保する事が難しい。	1回の面談に各種の面談を盛り込んだり、兄弟分の面談も同日に行ったり、送迎時に説明を行ったりする事で保護者様の負担を軽減していく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年2月24日						
放課後等デイサービス はっぴーone純		利用児童数 28名			回収数 18名			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		2	職員の配置はもちろん、帰りの送迎等も二人体制なので安心できる。	・ありがとうございます。安全に療育や送迎が行えるよう今後も務めて参ります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17		1		・いつもありがとうございます！！ ・その子その子に合わせた支援が行われていて、写真を見るたびに楽しく活動に参加しているようで、安心する。	・有難うございます。今後も利用児に合わせた支援が行えるよう努めて参ります。また、保護者様に安心して頂けるよう今後も口頭でのお伝えや写真等でしっかりとお伝えしていきたいと思っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	3	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			・ささいなことでもきちんと伝えてくれるので保護者としてもありがたい。	有難いお言葉をありがとうございます。今後もご報告やご連絡を速やかにお伝えしていける様努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3			・ここ最近ではモニタリングと担当委員会が年に1回となっていたため、相談員に高学年から中学校に移行する段階での話し合いを増やして欲しいと申し出ました。・保育所等訪問などの報告なども対応が早く、学校の様子もしっかりと伝えてもらい分かりやすい。	・ご意見有難うございます。ご不安に感じてらっしゃる事がございましたら、お話し出来る機会を増やして参りたいと思っております。・有難うございます。今後もHUGアプリの連絡欄や送迎時等で1日のご様子もしっかりとお伝えしていける様、努めて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2		3	・兄弟向けのイベントの開催はあるのですか？	・年に2回以上の保護者会や年1回の大運動会など保護者やご兄弟が参加出来る機会を設けておりますが、今後さらに機会を設ける事が出来る様に努めて参ります。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			1	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果は今まで確認をしたことがないので、発信があった際はLINEで教えて下さると助かります。(LINEでホームページを確認するわけではないので教えて下さる方が確認しやすいです) 翌月のおたよりも早くから配信されていて、専門的支援の内容も丁寧に分かりやすく書かれています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			5	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な説明がされていないと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			1	<ul style="list-style-type: none"> 又、1月頃から新天地で活動があるため、安全確保についての説明があると助かります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	2			<ul style="list-style-type: none"> 信頼して通所しているのが伝わってくる。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			<ul style="list-style-type: none"> たまに行き渋りがあるがそれは、ハッピーが嫌とかではなくたまには友達と遊びたいという気持ちからで、行くこと自体に対しては、楽しみにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			<ul style="list-style-type: none"> 祝日に遠出でき、色々な所に行けるの本人楽しみにしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス はっぴーone純		公表日		R8年 2月 24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	9	個別指導時支援が丁寧に行えるスペースが確保できない時がある為、改善に繋げる。	追加でパーテーション等を用いて個室の空間を設ける事が出来る様に努めて参ります。古民家を利用している為、スペースが適切ではない部分もあるが、新事業所へ移転の予定である為、今後期待出来ると思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	基準定員は満たしているが、十分な支援が必要だと思う時に対応できるようさらに改善に努める	国の定める人員配置数を越えた配置に努めているが、さらに十分な支援が出来る様に努めて参ります。国の定める人員配置数を越えた配置に努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	7	バリアフリー化ではないが、安全に過ごせるように職員配置を行っている。また、こどもに分かりやすいよう部屋の名前のカードを貼っている。	古民家ゆえ、バリアフリー化ではないが、今後新事業所へ移転する予定の為、期待できると考える。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	7	個別時間はパーテーションで区切る為エアコンが利かず、寒かったり、暑かったりする為改善が必要。子ども達にとって狭い時がある。清掃がしてあるので清潔は保たれている。	毎日、清掃と同時に空気清浄機を取り入れたり換気を行っており、毎日清掃、施設内外点検しています。老朽化が進んでおり、3月頃新事業所が完成・移転します。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	数に限りがあるものの、気持ち落ち着かない時に使用できるよう部屋を確保している。	新事業所に移転した際にはさらに個別の部屋でクールダウンできる部屋を確保できると思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	ケース会議やカンファレンス、各研修等を通して、振り返りや目標設定を行う時間を作っている。	今後もカンファレンス等にて振り返りを行い、職員全体で把握できるように努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	年1回ではあるが、保護者様に評価表を記入していただき業務改善を行っている。	年1回の評価表により、保護者様の意向を把握する機会を設けている。カンファレンス等にて共通理解をし改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎朝の朝礼や会議、カンファレンス等で全員が意見を伝えられるように工夫している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	評価表を記入していただき業務改善を行っている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に事業所内研修を行っており、事業所外の研修にも積極的に参加している。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムを作成している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	個別支援計画を期間ごとに評価、見直しを行なっている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	カンファレンス等を行い、共通理解に繋げている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	計画を基に支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	保護者様より頂いた知能検査結果等、全職員で確認を行い、支援を行っている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに則り、ねらいや支援内容を踏まえながら、計画を作成し、支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	毎月の職員会議で行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	毎月の職員会議で固定化しないように企画している。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別活動や小集団での活動も行った上で計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日、朝礼時等で必ず支援内容や役割分担の確認をスタッフ全員で行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼等でその日の振り返りを行い、また翌日の朝礼等でも、全体理解に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の記録を徹底し、支援の検証、改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に一度、モニタリングを行い、個別支援計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流機会の提供、余暇の提供を組み合わせ支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	毎日自由選択活動を行っており、自己決定をする力が育めるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	可能な限り、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関との連携を行い、支援をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者様から情報を提供して頂いている。また学校へ迎えの際、学校側ともその日の様子を伝えて貰っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	事業所内の児童発達支援事業所との情報共有は行っている。今後は更に相互理解に努めていく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	まだ移行した利用者はいないが、支援内容は保管してあるので保護者様の同意を頂ければ情報漏洩に十分に配慮した上で提供できる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	研修会に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会を検討していく。放課後等デイサービス はっぴーone II の児童と交流する機会を設けていますが、多くはないため機会を増やして参ります。	外出先で活動が一緒になった際に挨拶等を実施している。今後、一緒に活動出来る機会を設けていよう努めたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	会場が遠い為、参加できない為、情報共有の機会を設けていきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	毎回連絡帳等で1日の様子や活動内容を伝え、また送迎時や電話等で伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	年2回の保護者会等で支援内容を報告し、ご家庭でも活用して頂けるように共有していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約時に説明させて頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	家族支援を通じてご家族との情報共有を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	毎回、支援内容の確認を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	ご家族の悩み等はスタッフ全員で話し合い、家族支援や坦会、送迎時、電話等に助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		年2回、保護者会を開催している。職員も含め保護者同士での交流の機会を設けている。また、年1回の大運動会等にてご兄弟も参加出来る機会を設ける事で支援を行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情受付を選任し、ご契約時に苦情に関する連絡先をお伝えし、迅速に対応出来るよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	月に1回お便りを配信し、行事予定をご確認頂けるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付きの書庫に保管し、取扱いに十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	支援が行えるように個別支援計画を作成している。その際、家族支援や担会等にて保護者様の意思疎通のための配慮に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	地域住民を招待する活動は行っていない。地域の方と関わる機会がない。今後、検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種のマニュアルがあり、職員に周知をし、訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	毎月、避難訓練を行っている。また、定期的にAEDを点検、使用に当たっての研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	子どもの状況を確認し、共通理解として努めている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	アレルギーのある子は利用していません。今後対応児が利用される場合は対応していきます。	現在、アレルギー対応の必要性がある児童は利用されていないが、利用時は保護者や医師の指示に基づき対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全管理の訓練を行い、支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時や家族支援時を利用して、周知するようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットを作成し、情報共有を行い再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会があり、定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	委員会設置がなされており、定期的な研修も行っている。家族支援時等を使用し、了解を得ている。		